

同時進行型



富山県立雄山高等学校  
松倉悦子

実践テーマ

自作映像やDVDを見て、線を書き込んだり、記入しながら、食文化伝承の重要性などを理解する。

授業の進め方、デジタルテレビ等活用の仕方

- 導 入：生徒が取材した昆布の工場の映像を視聴し、プレゼンテーションソフトを利用しながら自作プリントへ記入。（興味・関心を高める）
- 展 開：かまぼこ関連会社作成のDVDを視聴しながら、もう1台のデジタルテレビでは北前船の航路をたどりながら、昆布ロードを確認する。データ放送を活用し、リアルタイムで昆布料理のレシピを確認する。

本時の展開

主な学習活動		
学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	・前時までの授業内容をプレゼンテーションソフトのスライド機能（静止画①）で振り返った後、昆布を利用した富山の郷土料理として、昆布を取り上げ、生徒が取材した昆布の工場の映像（動画①）を視聴する。	●自作ハイビジョン映像 ●自作ビデオ映像
展開	・富山のかまぼこ関連会社作成のDVDを視聴し（動画②）、富山の食文化と昆布のつながりについて考えるとともに、昆布を運んだ北前船の航路を地図（静止画②）で確認する。 ・日本各地での昆布の使われ方（富山では昆布の巻や昆布巻き、大阪では佃煮や塩昆布、沖縄ではクーブイリチ）について、プレゼンテーションソフトを活用しながらプリントにまとめる。	●DVD映像（地元企業制作） ●TV放送の録画映像
まとめ	・最後に昆布料理の作り方について、データ放送（静止画③）を活用することでレシピを随時参照できることを紹介し、学習の意欲を喚起させる。	●NHKデータ放送「とやま食だより」



生徒が取材した映像を視聴する。



昆布を運んだ北前船の航路地図で確認する



データ放送の活用の仕方を紹介する。

生徒の反応・効果

- ・デジタルテレビ2台を用い、1台は生徒の記入するプリントに沿った電子黒板として利用することで、生徒の理解が高まった。
- ・電子黒板上で昆布ロードの航路を線で引くことで、クラス全員が確認できた。
- ・データ放送を利用したことで、デジタルテレビの新たな活用方法を知り、学習意欲が高まった。

活用のポイント

- ・デジタルテレビをそれぞれ動画、静止画（主に電子黒板）に使い分け、同時に提示することで視覚的に生徒の理解を深める効果があった。
- ・データ放送を利用することで、瞬時にさまざまな情報を取り出すことができ、効果的である。